

科目	単位	時間	履修学年	講師名
母性看護援助論Ⅲ	1	30	2	井上 理恵子
ねらい	正常に経過する産褥期および新生児期にある対象の看護に必要な看護技術を学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1 回目	母性看護における看護過程の特徴			講義
	ウェルネス看護診断・演習事例紹介・データベース			個人ワーク
2 回目	妊娠期の分析・解釈			個人ワーク
3 回目	分娩期の分析・解釈			個人ワーク
4 回目	褥婦：産褥期の分析・解釈			個人ワーク
	褥婦：産褥期のアセスメント・看護診断			
5 回目	褥婦：看護計画の立案 関連図・看護計画			個人ワーク
6 回目	新生児の情報整理			個人ワーク
7 回目	新生児の分析・看護診断・看護計画			個人ワーク
8 回目	褥婦・新生児の看護技術準備			グループワーク
9・10 回目	褥婦・新生児の看護技術 演習			グループワーク
	①妊婦体験妊娠中の動作②産褥の子宮底長の測定			演習
	③悪露の観察 ④授乳の援助（抱き方含む） ⑤調乳・ボトル授乳と排気のさせ方⑥新生児のV S 測定			
	⑦おむつ交換 ⑧新生児の計測			
	新生児の看護（沐浴・ドライテクニク）			
11・12 回目	新生児の看護の実施（沐浴・ドライテクニク）			演習
13・14 回目	産褥期の保健指導発表			グループワーク
	・産後1ヵ月の過ごし方・産褥の異常・栄養（貧血）			発表
	・育児不安のある褥婦・育児サポートが少ない褥婦			
	・母子手帳の活用・産褥体操・赤ちゃんの生活			
	【母乳栄養】・乳頭の正しい含ませ方・母乳不足の見分け方			
15 回目	総評			講義
教科書	系統看護学 母性看護学各論 医学書院病気が見える⑩産科			
評価方法	看護過程の課題提出（授業・GWの参加度、小テスト等を含む）：100点			
備考				